

## 平成24年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年12月9日

上場会社名 株式会社スリー・ディー・マトリックス 上場取引所 大 (JASDAQグロース)  
 コード番号 7777 URL <http://www.3d-matrix.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高村 健太郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 岡田 淳 (TEL)03(3511)3440  
 四半期報告書提出予定日 平成23年12月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年4月期第2四半期の連結業績 (平成23年5月1日～平成23年10月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	事業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年4月期第2四半期	400	—	58	—	9	—	8	—
23年4月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 24年4月期第2四半期 10百万円 (—%) 23年4月期第2四半期 ー百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年4月期第2四半期	2	24	2	11
23年4月期第2四半期	—	—	—	—

(注) 当社は、平成23年4月期第2四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成23年4月期第2四半期の記載及び平成24年4月期第2四半期増減率の記載をしておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
24年4月期第2四半期	百万円 2,606	百万円 2,534	% 96.6
23年4月期	1,199	1,149	95.0

(参考) 自己資本 24年4月期第2四半期 2,519百万円 23年4月期 1,139百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
23年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
24年4月期	—	0.00	—	—	—	—
24年4月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年4月期の連結業績予想 (平成23年5月1日～平成24年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	事業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	550	247.4	△456	—	△477	—	△478	—	△114	98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年4月期2Q	4,514,000株	23年4月期	3,792,000株
② 期末自己株式数	24年4月期2Q	一株	23年4月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年4月期2Q	3,826,359株	23年4月期2Q	一株

(注) 当社は平成23年7月26日付で株式1株につき100株、平成23年8月30日付で株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

平成23年12月13日(火)・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(7) 重要な後発事象 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

#### ①業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にある中で、サプライチェーンの復旧による生産の回復、個人消費や設備投資の下げ止まりなど、上向きの動きがみられるようになりました。しかしながら、欧州をはじめとする海外経済の景気の下振れリスクが存在し、それらの影響による為替市場での円の高止まりから国内企業の収益を圧迫しており、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

一方、当社グループが事業を展開する医療関連分野においては、世界的な医療機器産業の拡大が予測されており、政府の「新成長戦略」の中でも、日本のものづくり技術により国際競争力の高い医療機器を開発することで世界へ貢献することが目標とされております。

このような状況のもと、当社グループは主要技術である自己組織化ペプチド技術による医療製品の開発に引き続き注力しており、第1パイプラインの吸収性局所止血材(TDM-621)は本年5月に独立行政法人医薬品医療機器総合機構(以下「PMDA」という。)への製造販売承認申請を行い、審査期間に入っております。第1四半期連結累計期間においてTDM-621の日本における独占的販売権の付与先である扶桑薬品工業株式会社から、製造販売承認申請時に係るマイルストーンペイメントを獲得し事業収益として計上するなど開発を進めております。また、TDM-621の製品製造に関して、製造工程の一部を外部に委託することにつき委託先との契約を締結しておりますが、製品化に向けた製造ライン整備に向けて対応を進めております。

また第2パイプラインの歯槽骨再建材については、平成23年7月に当社子会社において米国食品医薬品局(以下「FDA」という。)からIDEの承認を取得し、臨床試験開始に向けた準備を進めるとともに事業パートナーとの交渉を進めております。

その他にも、複数のパイプライン製品の研究開発を並行して推進し、事業提携等に向けた交渉を行っております。

このような結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、事業収益400,000千円、経常利益9,042千円、四半期純利益8,566千円となりました。

なお、当社グループの事業は単一セグメント(医療製品事業)であるため、セグメントごとの記載はしていません。

#### ②経営成績

当第2四半期連結累計期間の事業収益は400,000千円となりました。これは、TDM-621に関するマイルストーンペイメントによる研究開発事業収益400,000千円によるものであります。

事業費用につきましては、人員の増加に伴う費用、マイルストーンペイメントに対する販売手数料及び上場に伴う費用を計上したことにより341,120千円となりました。

上記の結果、営業利益は58,879千円、経常利益は9,042千円、四半期純利益は8,566千円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間における総資産は2,606,767千円(前連結会計年度末比1,407,717千円の増加)となりました。

流動資産につきましては、2,081,808千円(同1,415,351千円の増加)となりました。これは主に、現金及び預金1,396,617千円及びその他に含まれております前渡金24,692千円の増加によるものです。

固定資産につきましては、524,959千円(同7,634千円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産に含まれております医療製品製造調整のための設備に係る建設仮勘定の増加26,880千円がある一方、無形固定資産であるのれんの償却額35,000千円の減少によるものです。

負債につきましては、72,218千円(同23,106千円の増加)となりました。これは主に、流動負債のその他に含まれております未払費用18,464千円の減少がある一方、未払金23,357千円の増加によるものです。

純資産の部につきましては、2,534,548千円(同1,384,610千円の増加)となりました。これは主に、公募増資及び新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ684,700千円増加したことによるものです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年10月24日に公表しました連結業績予想からの変更はありません。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第9号 平成22年6月30日)を適用しております。

#### (追加情報)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	589,084	1,985,702
たな卸資産	38,712	31,391
その他	38,659	64,714
流動資産合計	666,456	2,081,808
固定資産		
有形固定資産	5,729	31,782
無形固定資産		
のれん	466,669	431,668
その他	38,305	35,997
無形固定資産合計	504,974	467,666
投資その他の資産	21,888	25,510
固定資産合計	532,593	524,959
資産合計	1,199,050	2,606,767
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払法人税等	4,149	5,455
その他	44,572	66,402
流動負債合計	48,721	71,857
固定負債		
繰延税金負債	389	361
固定負債合計	389	361
負債合計	49,111	72,218
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,359,300	2,044,000
資本剰余金	1,349,300	2,034,000
利益剰余金	△1,596,490	△1,587,924
株主資本合計	1,112,109	2,490,075
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	27,002	29,216
その他の包括利益累計額合計	27,002	29,216
新株予約権	10,826	15,256
純資産合計	1,149,938	2,534,548
負債純資産合計	1,199,050	2,606,767

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)
事業収益	
研究開発事業収益	400,000
事業収益合計	400,000
事業費用	
研究開発費	86,724
販売費及び一般管理費	254,396
事業費用合計	341,120
営業利益	58,879
営業外収益	
受取利息	117
消費税差益	313
その他	51
営業外収益合計	481
営業外費用	
株式交付費	14,273
支払報酬	25,641
為替差損	7,376
その他	3,026
営業外費用合計	50,318
経常利益	9,042
税金等調整前四半期純利益	9,042
法人税、住民税及び事業税	475
法人税等調整額	1
法人税等合計	476
少数株主損益調整前四半期純利益	8,566
四半期純利益	8,566

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,566
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	2,214
その他の包括利益合計	2,214
四半期包括利益	10,780
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	10,780
少数株主に係る四半期包括利益	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	9,042
減価償却費	4,330
のれん償却額	35,000
受取利息	△117
支払手数料	3,024
為替差損益(△は益)	6,631
株式交付費	14,273
株式報酬費用	4,430
たな卸資産の増減額(△は増加)	7,321
前渡金の増減額(△は増加)	△24,692
未払金の増減額(△は減少)	10,030
未払費用の増減額(△は減少)	△18,464
未払消費税等の増減額(△は減少)	10,296
その他	4,262
小計	65,370
利息の受取額	117
法人税等の支払額	△950
営業活動によるキャッシュ・フロー	64,538
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△26,271
無形固定資産の取得による支出	△2,279
長期前払費用の取得による支出	△4,736
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,286
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
株式の発行による収入	1,369,400
その他	△2,515
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,366,884
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,519
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,396,617
現金及び現金同等物の期首残高	589,084
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,985,702

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当第2四半期連結累計期間(自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)

当社グループは、単一セグメント(医療製品事業)のため記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)

株主資本の著しい変動

当社は、平成23年10月24日に大阪証券取引所JASDAQ市場(グロース)に上場いたしました。上場に当たり、平成23年10月23日付で公募増資の払い込みを受け、資本金及び資本準備金がそれぞれ676,200千円増加しております。

また、新株予約権の行使により、平成23年10月31日付で資本金及び資本準備金がそれぞれ8,500千円増加しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本金及び資本準備金がそれぞれ684,700千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が2,044,000千円、資本準備金が2,034,000千円となっております。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。